

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2011年11月10日

発行者ELIC編集委員会谷口利男
108-0073 東京都港区三田3-2-20
TEL(03)3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

No 287

1部100円

憲法9条と安保の危険な情勢！



「電機9条の会」は、10月29日(土)午後1時30分～4時30分都内「三田福祉会館」にて、「憲法9条と安保をめぐる最近の情勢」と題する第7回学習会を開催し26名が参加しました。

オープニングコンサートで湊愛子さんは、東北の支援に行った話と昔沖電気の争議支援参加の思い出を語り東北の民謡など演奏しました。

講師の小沢隆一東京慈恵会医科大学教授(右写真)は、学生時代沖電気の指名解雇闘争時に八王子市で行われた支援集会に参加したことなど電機とのかかわりを冒頭に話されました。

講演は、6ページのレジメと資料を提示して頂き、内容豊富な「90分授業」となりました。内容的には、野田政権、ひいては民主党政権の憲法9条に関する政策を分析し、特に自民政権のそれとの異同、固有の危険性について深く検討されたものでした。

とりわけ「抑止力」についての説明では、「駐留米軍＝抑止力」論について考える必要があり、「抑止力」論は結論として、軍事力による「威嚇」の中に潜む「攻撃的」な本性を併せ持つことを特質とする議論で、「核抑止」論同様、「抑止力」論は現代の平和創造を妨げるものとして克服すべきものと考えたと強調されました。

質疑では7名から出された質問や意見に対して、一つひとつ丁寧に説明して頂き、参加者一同今日の危険な動きを認識を深めました。



今月号の紙面

- ①「電機9条の会」第7回学習会
- ②三洋電機の実質解体が始まる
- ③ルネサスの人件費削減に異議有り
- ④12年春闘「アンケート」を開始
- ⑤日立懇「第20回」総会で深める
NECネットワーク懇が合宿交流会
- ⑥私の自慢「猫と生活」多田さん
- ⑦電機ユニオン・青年コーナー
- ⑧三菱電機の違法行為を厳しく断罪
八王子からの移管問題、集積回路